

平成24年度～平成30年度長井市市民アンケート調査結果概要

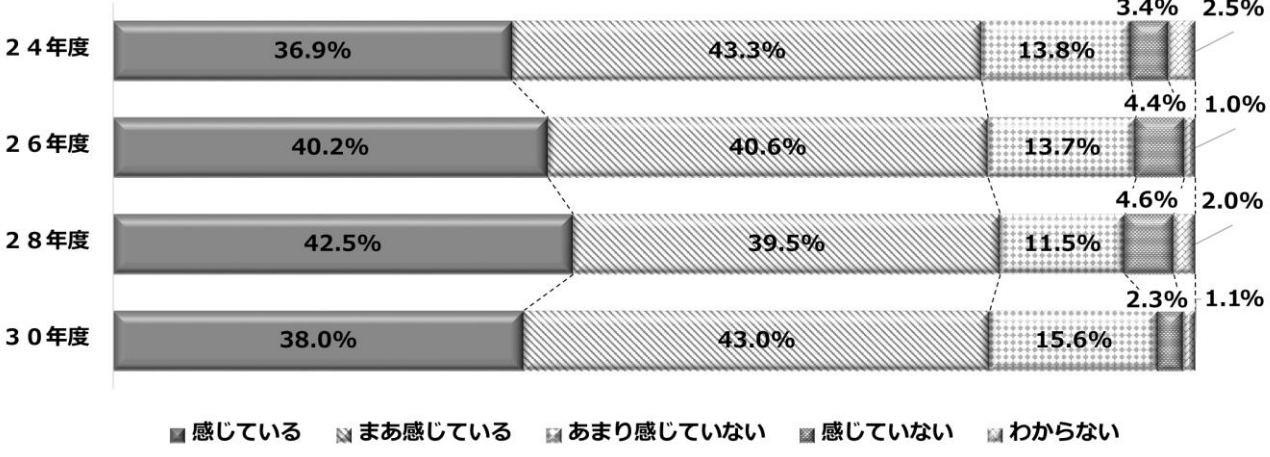
調査の概要

- ◎目的：市の政策に対して、市民が感じている思い（施策の満足度・重要度等）を把握し、今後の施策に活かすとともに、必要に応じて事務事業の見直しや改善を図り、一層の効率的な行政運営の一助にすることを目的とする。 ※平成24年度から隔年実施。
- ◎調査対象：20歳以上の長井市在住者（無作為抽出）
24年度：1,800人 26年度：1,500人 28年度：1,000人 30年度：1,000人
- ◎回収率：24年度：45.6% 26年度：45.9% 28年度：46.2% 30年度：44.3%
(回答数：821票) (回答数：688票) (回答数：462票) (回答数：443票)

主な調査結果の概要

1. 長井市への愛着について

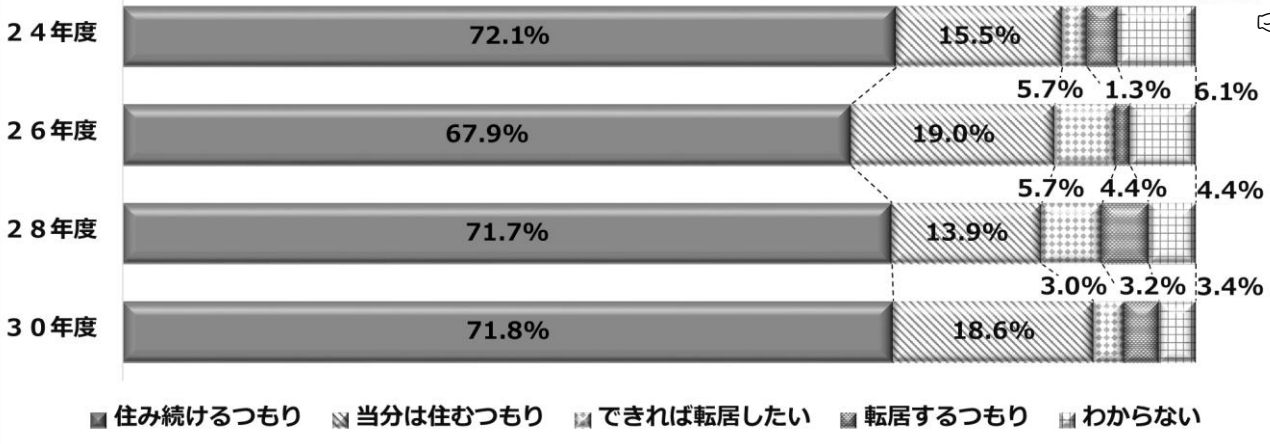
Q. 長井市に「自分のまち」といった愛着、親しみを感じていますか。



- 約8割の人が愛着を感じている
- 30年度の「感じている」、「まあ感じている」の回答を合計すると81.0%という結果になった。
- 「感じている」の割合は、28年度までは増加傾向にあったが、30年度には低下している。

2. 定住意向について

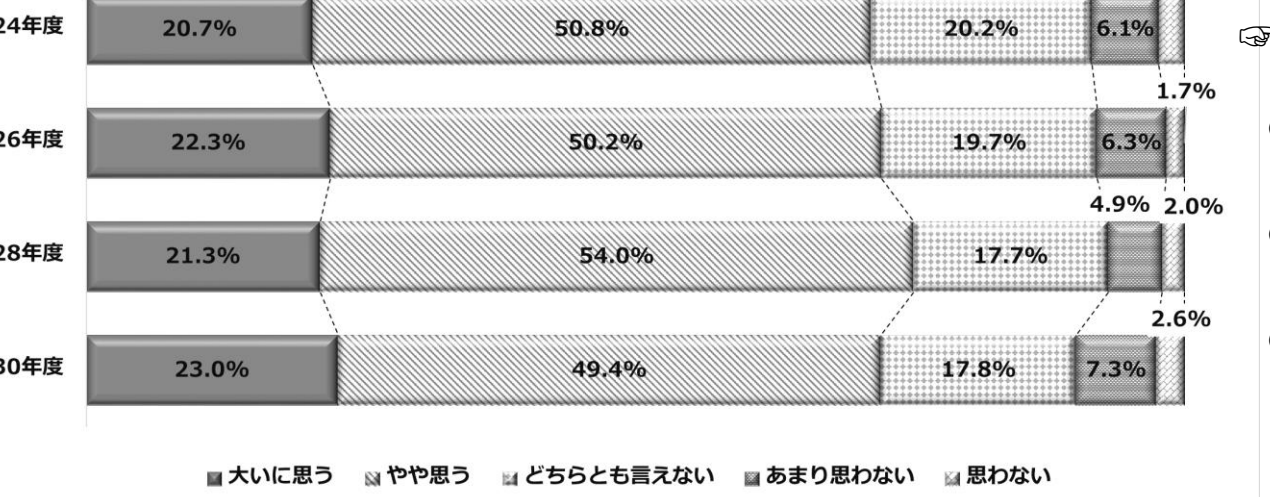
Q. これからもずっと長井市にお住まいになりますか。



- 約9割の人に定住意向がある
- 24年度に比べ、定住意向がある人の割合は増加
- 30年度の「住み続けるつもり」、「当分は住むつもり」の回答を合計すると90.4%という結果になった。
- 「住み続けるつもり」、「当分は住むつもり」の割合は、28年度まではほとんど変化が無かったが、30年度に約5%上昇している。

3. 「幸せ」について

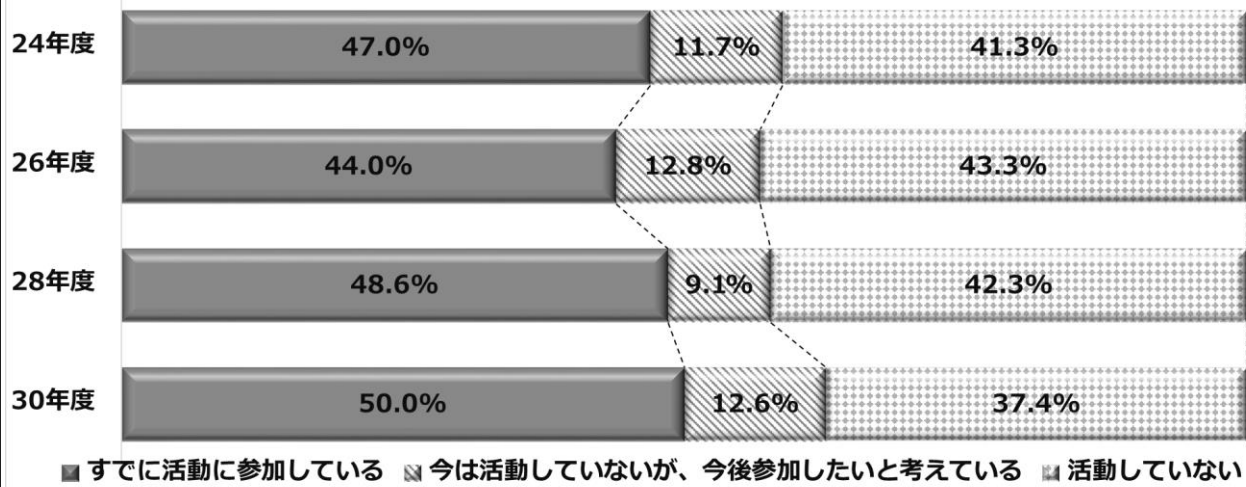
Q. あなたは幸せだと思いますか。



- 約7割の人が幸せだと思っている
- 30年度の「大いに思う」、「やや思う」の回答を合わせると72.4%という結果となった。
- 年度別の割合に大きな変化はないが、「大いに思う」の回答の割合が増加している。
- 「あまり思わない」、「思わない」の回答の割合も増加傾向にある。

4. 「地域活動への参加」について

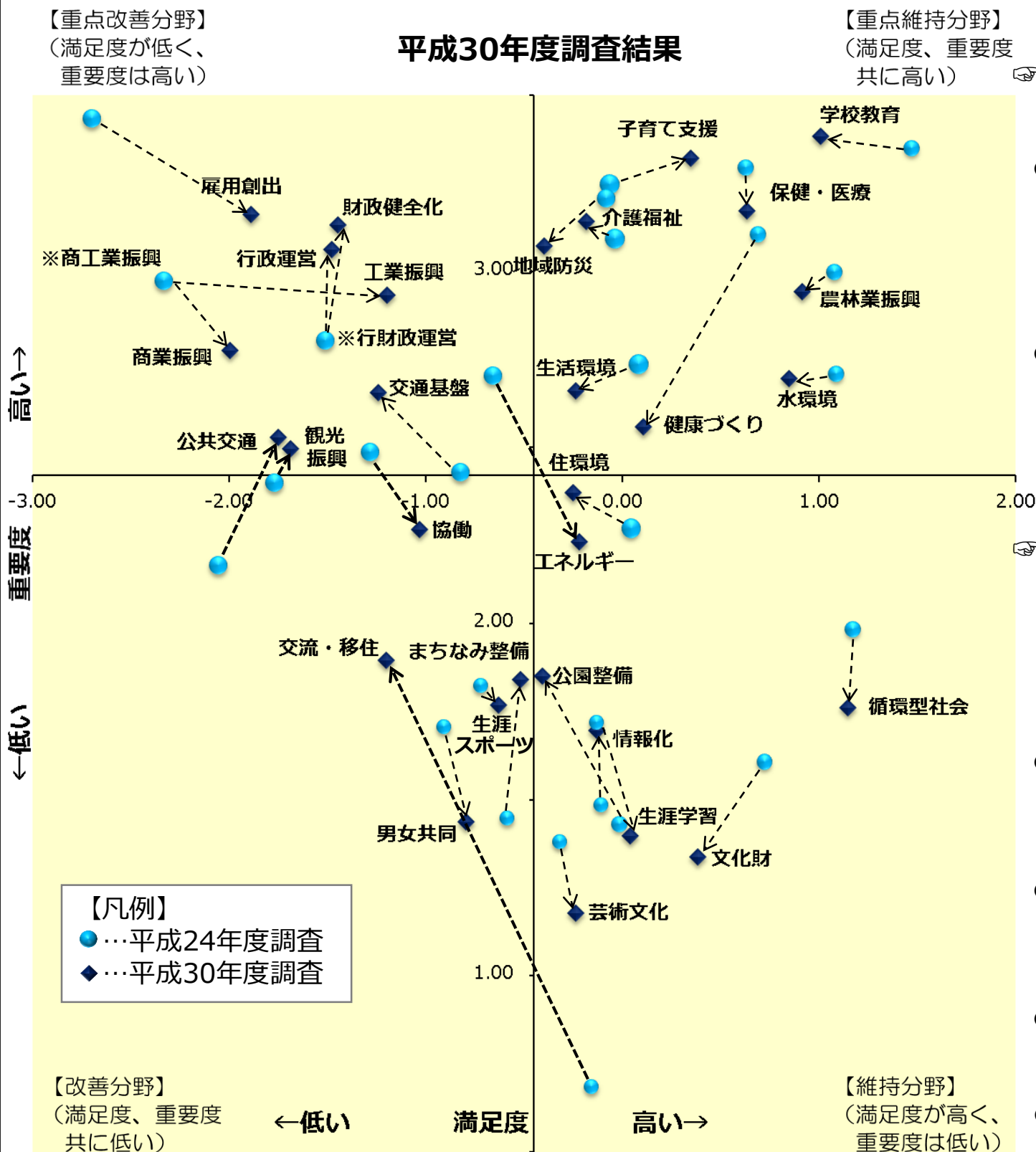
Q. 地域活動に参加していますか。



👉 5割の人が活動に参加している
👉 参加している人の割合は増加傾向

- 「すでに参加している」と回答した人は26年度以降、増加傾向にある。
- 「今後参加したいと考えている」と回答した人はほぼ横ばいであり、「活動していない」と回答した人は減少している。

5. 市の施策（取組み）に対する満足度・重要度



👉 教育・子育てへの満足度、重要度が高い

- 市の施策（取組）に対する満足度・重要度については、「学校教育」、「子育て支援」などが重要度・満足度ともに高い結果となった。
- 「雇用創出」、「商業振興」、「財政健全化」、「行政運営」などは、重要度は高いものの、満足度が低い結果となった。

👉 全体的に、満足度、重要度に大きな変化は見られなかったが、以下の施策については、分野を超えた変化があった

- 「交流・移住」は、重要度が上昇したものの満足度が低下し、改善分野に移行。
- 「公共交通」、「観光振興」は、重要度が上昇したため、重点改善分野に移行。
- 「協働」は、重要度が低下したため、改善分野に移行。
- 「エネルギー」は、満足度が上昇したものの重要度が低下したため、維持分野に移行。

◆ 全体的に大きな変化は見られなかったが、個別施策への満足度・重要度の変化等を参考に、施策内容の詳細や重点戦略を検討する。